

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾淵野辺		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成・モニタリング・見直しが非常に丁寧で、アセスメントに基づいた計画運用が徹底されています。児発管のみでなく、支援に関わる職員全体で共有しながら支援を実施している点が大きな強みです。	支援開始前・終了後の打ち合わせを徹底し、役割分担・振り返り・ヒヤリハット共有を行っています。PDCAを意識した改善が継続されています。	学習要素の「見える化」を進め、保護者へ支援内容がより伝わりやすい発信を行っています。
2	活動プログラムが固定化しないよう、常勤職員全員でミーティングを行い企画立案を行っています。保護者評価でも「活動が工夫されている」「楽しく通っている」と高い満足度が示されています。	5領域を意識した支援プログラムを作成・公表し、ガイドラインに沿った支援内容を設定しています。	非常勤職員との知識差を埋めるため、共有方法や研修展開を工夫し、支援の質の均一化を図ります。
3	保護者との情報共有が丁寧で、コドモン・送迎時フィードバック・面談を通して日々の様子や課題を伝え合う体制が整っています。満足度も非常に高く、「安心して通所している」「支援に満足している」という評価が多数です。	安全管理体制が整っており、マニュアル整備・避難訓練・BCP策定・虐待防止研修等を定期的実施しています。	安全対策やBCPについて、保護者への周知をさらに強化します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースについて「狭い」「運動スペースが不足している」との意見があり、保護者からも施設環境への改善希望が出ています。	施設規模と利用人数のバランスにより、活動内容によっては窮屈さが生じています。	より広い施設への移転検討やレイアウト改善を継続し、活動しやすい空間づくりを進めます。
2	清掃や環境整備にばらつきがあり、十分でないと感じる職員もいます。	非常勤職員との情報共有や研修展開が十分に行き届かない場面があります。	研修内容の共有・振り返りを強化し、職員間の質の均一化を図ります。
3	地域交流や外部との活動機会が限定的であるとの評価があります。	地域連携は取り組みはあるものの、曜日や調整面で機会に偏りがあります。	地域交流や家族参加型イベントの充実を図り、開かれた事業所づくりを目指します。